

ふるさとふちゅう

再発見

【特集】 導神社（いぼ落としさん）

導神社は本町三丁目の小さな祠で、県道152号線をえのみや郵便局から北へ約50メートル進んだ東側に建っています。

地域では「いぼ落としさん」とも呼ばれ、人々に親しまれています。祠の前にある手水鉢の水で患部のいぼを洗い、その水を新しく入替え、再度拝み、後ろを振り返らずに人に声をかけられても返事をせずに帰れば、いぼが治ると言い伝えられているのです。

導神社の名前の由来は明確ではありませんが、鎌倉時代にはすでに存在しています。広島県重要文化財の「田所家文書」には文暦元（1234）年頃の報告書である田所注進状に「辻道祖神」と記載があります。辻はこの辺りの旧字名で辻道祖神のために税を免除された田（免田）があったということです。この道祖神が現在の導神社です。道祖神は悪病・悪霊が村に入らないように村境などに祀られた神です。古くは榎川が集落の境であったのかもしれませんが、明治時代に多家神社が現在地に建立される前は、府中中学校付近にあった

松崎八幡宮と現総社会館の位置にあった惣社が府中村の春祭りを交互に行っていました。旧八幡宮の神主家に伝わっている『八幡宮祭祀行事記』には4月7日には八幡宮・惣社を巡る神輿の行幸があり、その時に「榎川北麓疣落神社之前江神輿を据へ獅子三度舞、是を川越し神事ト申也」とあります。神輿が榎川を渡る前に獅子が舞う川越しの神事を行うというのです。人々の生活で榎川が重要な川であったのでしよう。（昭和7）1932年に菅原守氏が著した『芸州府中荘誌』には道祖神社と紹介され、県道の側に小さな祠があり、昔は楠の大樹の枝が祠を覆っていたと記されています。この木は県道拡幅工事で取り除かれましたが、現在、その根の一部が神社の前に保存されています。

今回、祠が古くなったので辻町内会で修理するため、祭神を遷す仮殿遷座祭が2月15日の日没後から行われました。

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博



三翁神社



行事の様子



現在の導神社

本殿遷座祭
 本殿が改修されたりする際に、一時的に仮殿に遷していた祭神を新しくなった本殿へ戻す行事です。
時 4月26日(日) 日没開始
所 雨天の場合延期
 ※雨天の場合延期
 導神社（本町3丁目）

警察署からのお知らせ 広島東警察署 (☎506-0110)



事故に遭わない！起こさない！～「自転車安全利用五則」を守りましょう～

●自転車安全利用五則

- ①車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用



令和8年1月末交通事故発生件数【暫定値】 (広島東警察署)

物損事故	381件 (前年同期比+67件)
人傷事故	15件 (前年同期比-5件)

※今年4月から自転車に青切符が適用されます。

◆詳しくはHPをご覧ください。

